

グループホームかんの里 運営推進会議

日時:令和7年3月27日

場所:小規模多機能型居宅介護かんの里

出席者:出雲市職員 1名

出雲高齢者あんしん支援センター職員 1名

施設職員 1名

1. 7月以降の状況について

2ユニット 定員18名

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
入居者	18	18	18	18	18	18	18	18
男性	1	1	1	1	1	1	1	1
女性	17	17	17	17	17	17	17	17
新規	0	0	1	0	0	1	0	0
退去	0	1	0	0	1	0	0	1
平均年齢	86.4	86.6	86.6	86.7	86.8	86.7	86.8	86.9
入院	0	1	0	2	0	0	0	4
平均介護度	2.8	2.8	2.9	2.9	3.0	2.9	2.9	2.9

<8月>

退去 1名 死亡

入院 1名

<9月>

入居 1名 自宅より 要介護1 女性

<10月>

入院 2名

<11月>

退去 1名 特養入居(併設以外)

<12月>

入居 1名 サービス付き高齢者向け住宅より 要介護2 女性

<2月>

退去 1名

入院 4名

2. 活動の様子

しりとり、かるた、塗りえ、壁紙作り、うた、テレビ、テレビ体操、童謡、口腔体操、風船バレー、調理、洗濯物たたみ、脳トレプリント、誕生日会など

7月 セタ

8月 沖北まつり、神門おひさま児童クラブと交流

9月 敬老会、出雲医療看護専門学校実習生受け入れ

10月 おはぎ作り、芋ほり、収穫祭

入浴リフト導入

11月
12月 クリスマス
1月 初詣
2月 節分

3. 地域密着型サービスの外部評価について
R7.2.27 (有)保健情報サービスによりユニット毎に受審。
評価の結果及び目標達成計画について報告。

【意見】

○ 事故発生状況について教えてください

- ・ 薬の飲ませ忘れやけがに至らない転倒事故が起こっており、その都度対策を検討している。薬については、最期にチェックしており飲ませ忘れを発見したもの。
- ・ 10月には大腿骨転子部骨折により入院、手術を受けられた。認知症が高度であるためリハビリテーションが理解できず退院された。現在もかんの里で生活されている。
- ・ 紙おむつを破いて、吸収ポリマーを食べておられた事例があった。発見時直ぐに、口の中の物を出している。吸収ポリマーは人体への影響はないが、窒息事故が起こる可能性があり、見守りを強化するようにした。

以上